

## 平成 30 年度岩手県中堅期保健師コンサルテーション事業開催要領

### 1 目的・目標

目的：次期統括者の役割を担える中堅期保健師を育成する。

目標：

- (1) 複雑かつ社会問題化した困難事例や新たな課題に対応するため、潜在する地域の健康課題を分析できる能力を高め、事業を展開するための実践力を向上する。
- (2) 地域・職域の健康課題に対応した事業を展開し、その成果を政策課題（組織的活動計画）として提示できる能力を強化する。
- (3) 自組織において、中堅期保健師としての組織の活性化につながるような働きかけやシステムの改善・提案・構築ができる能力の向上を図る。
- (4) 共同で学び合うことを通して、保健師の専門性の経験知や保健活動の真価を再認識することにより、モチベーションの向上、保健師としてのアイデンティティの強化につなげる。

### 2 実施主体 岩手県

### 3 実施機関 公益社団法人岩手県看護協会

### 4 対象

岩手県内の保健所、県所属機関及び市町村に所属し、保健事業（介護予防事業含）に携わっている中堅期の立場にある保健師で、概ね 10 年から 20 年程度の実務経験を有し、所属長の推薦を受けた者 15 名程度とする。

### 5 費用

受講費は無料とする。

### 6 実施期間・場所

#### 1) プログラム実施期間：平成 30 年 7 月～12 月

・前期プログラム	平成 30 年 7 月 25 日（水）	9：25～16：50
〃	7 月 26 日（木）	9：30～16：50
・中期プログラム I	8 月 30 日（木）	9：30～16：50
・中期プログラム II	10 月 12 日（金）	9：30～16：50
・後期プログラム I	11 月 20 日（火）	9：30～16：40
〃 II	12 月 7 日（金）	9：25～17：00

#### 2) 開催場所：公益社団法人岩手県看護協会 看護研修センター

住所 盛岡市緑が丘 2 丁目 4 番 55 号 電話 019-662-8213

### 7 実施内容

#### 1) プログラムの特徴

##### (1) テーマ設定

市町村は、母子保健・生活習慣病予防・介護予防・精神保健の 4 テーマから選択、県保健所等は自由テーマとする。自組織における保健活動上の課題であり、実際に取り組むことができるもの 1 テーマを選択する。

##### (2) プログラム

グループ構成：グループ力動の効果をねらい 4～5 名程度の構成とする。

形式：講義形式にとどまらずグループワークを多く実施し、さらに、実践的に展開し、実践力を培うものとする。

(3) コンサルタントの配置

1 グループに複数名、保健師育成に適した実践者（コンサルタント）を配置するとともに、配置し、専門的な観点から指導助言を行う。

<コンサルタント 6名>

所 属	氏 名
公益社団法人岩手県看護協会 副会長	奥 寺 三枝子
学校法人岩手医科大学 岩手看護短期大学 専攻科 地域看護学専攻	鈴 木 るり子
(元) 岩手県保健師	立 花 恵美子
滝沢市 包括支援センター	千 葉 澄 子
軽米町 健康福祉課	中 里 早 苗
公立大学法人 岩手県立大学看護学部	松 川 久美子

2) 受講者の実施事項

受講者は、以下の事項を実践する。

(1) 事前課題

- ・指定課題図書を読む。
- ・自己の選択したテーマにおいて、これまでの実践とその結果について、以下の視点で整理分析を行う。

- ①健康課題の根拠となるデータ等の整理分析
- ②法的施策的情報整理
- ③これまでの取り組み、関連事業の総括

- ・整理分析結果をもとに、課題の抽出と実践計画（試案）を策定する。

(2) コンサルタントから指導助言を受けながら、実践計画（試案）を修正し、実践の見通しを立てる。

(3) 実践計画に基づいて以下の「能力強化のための実践」を自組織の仲間と共同で取り組む。

- ①地域データ等の整理分析の精査
- ②法的施策的情報整理
- ③これまでの取り組み、関連保健事業の総括
- ④対象者聞き取り訪問と事例検討
- ⑤関係する機関、者への聞き取り訪問
- ⑥組織的活動計画・実践

※コンサルタントから実践に伴う指導助言を受けながら、計画修正・実践・評価をする。

(4) 計画・実践・評価について、資料化し、それらをもとに発表・討議する。

(5) 自組織での政策提言を行う。

(6) 成果の公表や、関連する本会事業推進について協力する。

3) その他

研修修了者には受講修了証を発行する。

8 受講申込方法

1) 受講申込締切：平成 30 年 6 月 8 日（金）

2) 受講要件

受講者は以下の要件を満たしていることとする。

- (1) 現在、保健所、県所属機関及び市町村に所属し、保健事業に携わっていること
- (2) 保健師実務経験を 10 年～20 年程度有する者
- (3) 所属の推薦を受け、全プログラムに継続して参加できること
- (4) 自組織での組織的な実践が可能な協力体制が得られること

- (5) これまで、事業の総括やリーダー的役割を担った経験があること
- (6) 自組織で、今後、次期統括者としての役割を担っていこうとする意志があること
- (7) 本プログラムでの計画、実践、成果の記録やデータ等の提出ができること

3) 受講申込書類の提出

受講希望者は、申込書類一式（様式1～3）を整えて期日までに岩手県看護協会に提出する。  
※申込様式は、岩手県看護協会ホームページに掲載している。

4) 送付先

封筒に「中堅期保健師コンサルテーション事業受講申込」と朱書し、以下の住所に送付する。

公益社団法人岩手県看護協会  
〒020-0117 盛岡市緑が丘2丁目4番55号

9 事業担当

公益社団法人岩手県看護協会 専務理事 北村和子

盛岡市緑が丘2丁目4番55号

TEL : 019 (662) 8213 FAX : 019 (662) 9550

平成 30 年度岩手県中堅期保健師コンサルテーション事業プログラム

①事前課題 6-7 月

- 課題図書を読む
- テーマ別の最新の動向（知識・技術・関連法・社会情勢等）を調べる
- 「実践内容記入シート」の記入
- 「実践計画記入シート」の記入
- 「個人評価チェックシート」の記入

課題提出：7 月 19 日（木）提出〆切／様式 1・2

②前期プログラム

[平成 30 年 7 月 25 日（水）]

会場：岩手県看護研修センター 2 階研修室

	時間	形式	内容	講師・発表者等	ねらい
	9:10	(開場)			
全体	9:25~9:30	説明	オリエンテーション	担当（赤石）	
	9:30	開会	開会		
	9:30~9:35 (5分)	挨拶	挨拶 岩手県看護協会 会長 及川吏智子	岩手県看護協会 会長	
	9:35~9:40	説明	関係者紹介	担当	
	9:40~10:00 (20分)	挨拶 行政 説明	「岩手県の保健師の現任教育について」 岩手県保健福祉部健康国保課 総括課長 佐々木 哲 氏	岩手県保健福祉 部健康国保課	○岩手県の現任教育体制について理解を深める
	10:00~10:50 (50分)	講義	中堅期保健師コンサルテーション事業について ・コンサルテーションプログラムの目的 ・中堅期保健師の役割 ・コンサルテーションプログラムの進め方	講師（中里）	○中堅期保健師の役割、本プログラムの目的と進め方が理解できる
	(10分)	休憩			
テーマ別	11:00~12:00 (60分)	グループ ワーク	受講者の自己課題と計画発表 (自己評価チェックシートの確認含む) ・アイスブレイキング ・発表 5分 質疑 5分 ・助言	受講者 コンサルタント	○職場の上司とともに参加者の問題意識と課題について共有する ○お互いに積極的に質問し合う
	12:00~13:00 (60分)	(昼食)			
テーマ別	13:00~14:20 (80分)	グループ ワーク	実施計画の見直しと修正について ・実践テーマ～実践計画の方向性の確認 ・今後の課題への取組みの疑問点の解決	受講者 コンサルタント	○習得した情報や知識を実施計画に反映することができる
	(10分)	休憩			
全体	14:30~15:30 (60分)	講義	保健活動の企画・実施・評価について	講師（松川）	○実践経過を総括・評価（企画評価、実施評価、結果評価）する方法が理解できる
	(10分)	休憩			
テーマ別	15:40~16:40 (60分)	個人 ワーク 面談	実施計画の見直しと修正について ・実践テーマ～実践計画の方向性の確認 ・今後の課題への取組みの疑問点の解決	受講者 コンサルタント	○習得した情報や知識を実施計画に反映することができる
全体	16:40~16:50		2 日目の予定について	担当（赤石）	

[平成 30 年 7 月 26 日 (木)]

会場：岩手県看護研修センター 2 階研修室

	時間	形式	内容	講師・発表者等	ねらい
	9:10	(開場)			
	9:30~9:35	説明	オリエンテーション	担当 (赤石)	
全体	9:35~10:50 (75 分)	発表	実践計画の発表 名  Aグループ 名 Bグループ 名 (発表 7 分 質疑 5 分)	発表者：受講者 助言者：コンサルタント	○他者の発表を聞き実践計画の実施にむけ、具体的な実践のイメージができる
	(10 分)	休憩			
	11:00~12:10 (70 分)	実践事例発表	「平成 29 年度岩手県中堅期保健師コンサルテーション事業に参加して」 発表者 奥州市福祉課 主任保健師 高橋 薫 氏	平成 29 年度修了者	○実践を進めるためのイメージを共有でき、保健活動実践の見通しがたてられる
	12:10~13:10 (60 分)	(昼食)			
全体	13:10~14:10 (60 分)	講義	本プログラムの実践プロセスの意義の再確認と「聞き取り訪問」での個別事例からの読み取りについて	講師 (奥寺)	○本プログラムの実践プロセスの意義の再確認と「聞き取り訪問」を通じた個別事例からの読み取りの理解
	(10 分)	休憩			
テーマ別	14:20~15:40 (80 分)	グループワーク	各自の実践計画の修正 各自の実践計画の修正点についてのディスカッション	受講者 コンサルタント	○講義で習得した内容とグループディスカッションでの学びを自分の実践計画に反映 ○自己の実践計画に対してコンサルタントからの助言を受けることで、地域の健康課題に対応した中堅期保健師としての役割や課題をふまえた計画に修正できる
テーマ別	15:40~16:40 (60 分)	個人ワーク 面談	実施計画の見直しと修正について ・実践テーマ～実践計画の方向性の確認 ・今後の課題への取組みの疑問点の解決	受講者 コンサルタント	○習得した情報や知識を実施計画に反映することができる
全体	16:40~16:50 (10 分)		事務連絡・アンケート	担当 (赤石)	

### ③実践の場 (7 月～8 月)

<目標>

- 課題テーマの健康課題を構造的に捉え直す
  - ・担当する地域の健康に関するデータ等の整理・課題分析
  - ・法的施策の情報整理
  - ・これまでの取組み・関連事業の総括



課題提出：8 月 23 日 (木) 提出〆切／様式 2・3

#### ④中期プログラム

中期プログラム I [平成 30 年 8 月 30 日 (木)]

会場：岩手県看護研修センター 2 階研修室

《目標》 自己の実践経過をまとめ、今後の活動計画とその実践について見通しをたてる。

	時間	形式	内容	講師・発表者等	ねらい
	9:10		(開場)		
全体	9:30~9:35 (5分)	説明	オリエンテーション 本日のコンサルテーションプログラムについて	担当 (赤石)	
全体	9:35~10:35 (60分)	講義	政策提言とは	講師 (鈴木)	○「政策とは何か」から政策提言までのプロセスを理解し政策提言能力を強化する
	(10分)	休憩			
テーマ別	10:45~12:00 (75分)	グループワーク	・実践計画の発表 実践の振り返り 職場での共有の状況 困難点や疑問点のまとめ ・質疑応答	発表者：受講者 助言者：コンサルタント	○参加者同士の課題や方向性を共有 ○他者の発表を通して自己の実践を振り返る
	12:00~13:00 (60分)	昼食			
全体	13:00~14:30 (90分)	発表	実践計画・実践内容の発表 名 Aグループ 名 Bグループ 名 (発表 8分 質疑 5分)	発表者：各グループの代表者 助言者：コンサルタント	○他分野の実践事例を全体で共有 ○他者の発表を通して自己の実践を振り返る
	(10分)	休憩			
テーマ別	14:40~15:50 (70分)	グループワーク	各自の実践計画の修正 各自の実践計画の修正点についてのディスカッション	受講者 コンサルタント	○グループディスカッションでの学びを自分の実践計画に反映
	(10分)	休憩			
テーマ別	16:00~16:40 (40分)	個人ワーク 面談	実施計画の見直しと修正について ・実践テーマ～実践計画の方向性の確認 ・今後の課題への取組みの疑問点の解決	受講者 コンサルタント	○習得した情報や知識を実施計画に反映することができる
全体	16:40~16:50		事務連絡・アンケート	担当 (赤石)	

#### ⑤実践の場 (9月～10月)

<目標>

- 家庭訪問や面談を実践し、課題テーマの健康課題を構造的に捉え直す
  - ・当事者聞き取り訪問と事例検討
  - ・関係する機関、者への聞き取り訪問
- 組織的活動計画・実践 (関係職種と連携した保健師活動の実践)



課題提出：10月5日(金) 提出〆切/様式4

《目標》 自己の実践経過をまとめ、今後の活動計画とその実践について見通しをたてる。

	時間	形式	内容	講師・発表者等	ねらい
	9:10			(開場)	
全体	9:30~9:35 (5分)	説明	オリエンテーション 本日のコンサルテーションプログラムについて	担当 (赤石)	
テーマ別	9:35~11:45 (130分)  (休憩 10分)	グループワーク	・実践内容の発表 実践の振り返り 困難点や疑問点のまとめ ・質疑応答	発表者：受講者 助言者：コンサルタント	○参加者同士の課題や方向性を共有する ○他者の発表を通して自己の実践を振り返る
	11:45~12:45 (60分)			(昼食)	
全体	12:45~14:15 (90分)	発表	実践計画・実践内容の発表名 Aグループ 名 Bグループ 名 発表 8分 質疑 5分	発表者：各グループの代表者 助言者：コンサルタント	○他分野の実践事例を全体で共有する ○他者の発表を通して自己の実践を振り返る
テーマ別	14:25~15:45 (80分)  (10分休憩)	グループワーク	各自の実践計画の修正 各自の実践計画の修正点についてのディスカッション	助言者：コンサルタント	○保健活動推進にあたり出現する困難点・疑問点の解消を図る ○他者との意見交換を通じ実践の方向性の確認をする
	15:45~16:40 (55分)	グループワーク	意見交換 実践を通して中堅期としての自己を振り返る	助言者：コンサルタント	○現在までの実践を振り返り、中堅期保健師として自己を振り返る
全体	16:40~16:50 (10分)		事務連絡・アンケート	担当 (赤石)	

⑦実践の場 (10月~11月)

<目標>

- 軌道修正した活動計画に基づき保健活動の継続実践する
- 評価の方向性と評価に必要なデータ収集について見通しを立てる



課題提出：11月15日(木) 提出〆切／ 様式4・5 パワーポイント

## ⑧後期プログラム

後期プログラムⅠ [平成30年11月20日(火)]

会場：岩手県看護研修センター 2階研修室

- 《目標》 ○自己の実践を振り返り中堅期保健師としての力量形成につながった要件を明確にする。  
○実践経過を総括・評価し、その成果と新たな政策課題を提案することができる能力を強化する。

	時間	形式	内容	講師・発表者等	ねらい
	9:10		(開場)		
全体	9:30~9:35 (5分)	説明	オリエンテーション 本日のコンサルテーションプログラムについて	担当(赤石)	
テーマ別	9:35~11:30 (115分)  (10分休憩)	グループワーク	活動成果の発表と共有 (グループワーク1) ・活動成果発表 実践の振り返り(総括と評価) ・質疑応答 ・コンサルテーション	発表者：受講者 助言者：コンサルタント	○参加者同士の活動成果や今後の方向性を共有する ○他者の発表を通して自己の実践を振り返る
	11:30~12:30 (60分)		(昼食)		
テーマ別	12:30~14:20 (110分)  (5分休憩)	グループワーク	活動成果の発表と共有 (グループワーク2) ・活動成果発表 実践の総括と評価から、自組織への政策提言もしくは今後の「組織的活動計画・実践」の内容は見えてきたか。 それがみえた体験(実践や結果)とは何であったか。政策提言につなげるためには、今後更に何が必要か。 ・質疑応答 ・コンサルテーション	発表者：受講者 助言者：コンサルタント	○実践経過を総括・評価(企画評価、実施評価、結果評価)し、その成果と新たな課題を提示し、政策提言ができる能力を強化する
	(10分)	休憩			
全体	14:30~16:30 (120分)  (5分休憩)	発表	活動成果の発表 (自組織への政策提言のプレゼンテーション様式5) 名 プレゼン 7分 質疑・助言 8分 全体討議 25分	発表者：受講者全員 助言者：コンサルタント	○参加者同士の活動成果や今後の課題や方向性を共有する ○他者の発表を通して自己の実践を振り返る
全体	16:30~16:40 (10分)		事務連絡・アンケート	担当(赤石)	



課題提出：12月3日(月) 提出〆切／ 様式4・5 パワーポイント



	時間	形式	内容	講師・発表者等	ねらい
	9:10		(開場)		
全体	9:25~9:30		オリエンテーション	担当 (赤石)	
	9:30~9:35	挨拶	挨拶	及川吏智子会長	
	9:35~11:00 (85 分)	講義	ー公開講座ー 「中堅期保健師に期待される役割と責任」	講師 (未定)	
	(5 分)				
	11:05~12:15 (70 分)	発表	活動成果の発表 4 事例 発表 10 分 質疑 5 分 全体講評 10 分	進行 (赤石)	
	12:15~13:10 (55 分)		(昼食)		
全体 テーマ別	13:10~14:05 (55 分)	個人ワーク (10 分) グループ ワーク (45 分) KJ 法	本プログラムの振り返り 「テーマ 1：保健師に必要な能力は何か」 を実践を通して考える。  ①「能力強化のための活動」で自分が 実施したこと、その意味、そこから 得た中堅期保健師としての学び を振り返る。  ②「能力強化のための活動」で自分が 実施できなかったこと、その理由、 そこから得た中堅期保健師として の学びを振り返る。	進行：コンサルタント  2 階 研修室 実習室	○自己の実践を振り返り中堅期保健師としての力量形成につながった要件を明確にする ○「保健師に必要な能力は何か」を自己の実践を通して改めて考え、言語化することで、自己の保健師像を確立し、モチベーションの向上やアイデンティティの強化につなげる。
	(5 分)	休憩			
テーマ別	14:10~15:00 (50 分)	個人ワーク (10 分) グループ ワーク (40 分) KJ 法	「テーマ 2：今後の継続的な研鑽をどう 進めるか」 ① 自分が実施できなかったことを 実施する為には何が必要か ②研修後もモチベーションを維持して いくためにはどのようなことが 必要か ③保健師としての力量形成のため にはどのような研鑽が必要か	進行：コンサルタント	○自己の実践を振り返り、中堅期保健師としての力量形成につながった要件を明確にし、今後の自己の力量形成に必要な研鑽のあり方について見通しを立てることが出来る
	(5 分)	休憩			
全体	15:05~16:20	全体発表 (40 分) 全体討議 総評 (35 分)	全体発表 テーマ 1・2  総評	進行：コンサルタント  研修室	
	休憩 (10 分)				
全体	16:30~16:45 (15 分)	修了式 閉会	修了証書授与 挨拶	進行 ( ) 及川吏智子会長 北村専務理事	
	16:45~17:00		事務連絡・アンケート	担当 (赤石 )	



最終課題の提出：平成 30 年 12 月 26 日 (水) 提出〆切／ 様式 4・5 パワーポイント